

単元名 (選択単元)ごみのしりと活用

配当時間 11 時間

- 単元の目標 (1) ごみを処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効活用ができるよう協力して進められていることや、地域の人々の健康な生活環境の維持と向上に役立っていることを理解できるようにするとともに、施設を見学・調査したり、ごみ処理の過程などを資料で調べたりして、まとめることができる。
- (2) ごみの処理の仕組みや再利用、ごみの処理に携わる人々の苦労や工夫・協力に着目して、ごみの処理のための事業の様子を捉え、その事業が果たす役割について、調べたことや考えたことを表現することができる。
- (3) 自分たちの生活や産業に深く関わるごみ処理事業に問題意識をもち、意欲的に追究するとともに、地域社会の一員としてごみ問題に関わろうとする。

標準的な展開例

04030103_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 家庭のごみの分別作業や市全体のごみに関する統計資料から単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。</p> <p>○自分の家や学校でのごみ処理の経験から市（町）全体のごみの量を予想する。</p> <p>○市（町）全体のごみの量を知る。</p> <p>○ごみの処理の仕方について予想し、学習問題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 燃えるごみは工場でたくさん燃やされている 燃えないごみはどこかにまとめて捨てられている ごみの中にはリサイクルされる物もある <p>★ごみはどのように処理されているのだろう</p> <p>3 ごみの処理の仕方について予想し、学習計画を立てる。</p> <p>○どのようにごみが処理されているのかを予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 燃えるごみは、どこかに集められて燃やされている 燃やされた後はどうなるのかな 燃えないごみは、燃やされずにどこかに捨てているのかな リサイクルされるって聞いたことがあるけど、どのようにリサイクルするのだろう <p>○予想を基にして、学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 調べる内容…家庭や学校のごみ減量の工夫、ごみ処理場の減量化の工夫、ごみ処理に関わる人々の願い 調べる方法…家庭や学校のごみ処理の仕方の調査、ごみ処理場の見学・調査、市役所環境課へ聞き取り調査、副読本・作業帳・インターネットやその他の資料の活用 表現の仕方…ノート、新聞 <p>4～5 ごみ処理場の仕組みや働く人たちの努力や工夫を調べる。</p> <p>6～9 ごみ処理場を見学する。</p> <p>○見学の計画を立てる。</p> <p>○ごみ処理場の施設の仕組みや働く人々の工夫や努力について、聞き取り調査をする。</p> <p>○分かったことや気付いたことを見学メモに書く。</p> <p>10～11 単元のまとめをし、学習の振り返りをする。</p> <p>○見学のまとめを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活を振り返り、学校や家庭でどのようなごみが出ているのか話し合わせる。 家庭から出る1週間分のごみ調べをすることを伝え、家庭の協力を得て取り組ませる。 ごみステーションについて、場所を確認させる。 家庭でのごみの分別作業を体験させ、ごみの多様化、分別作業の難しさに気付かせる。 作業帳「1.くらしとごみ」を活用する。 <p>【評】家庭のごみを調べる活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ごみが処理されるまでの流れを調べ、まとめていくことを確かめる。 1週間の家庭のごみ調べの結果をまとめ、発表させる。 今の自分たちの生活や、環境への配慮などを振り返らせ、ごみを削減できる方法について考えさせる。 <ul style="list-style-type: none"> 既有知識を基にした一人一人の予想を発表させ、大まかにまとめながら調べる内容や方法を設定していく。 計画表を提示し、各自の考えや調べる内容や方法、手順などを記入できるようにする。 学び方カード（情報収集の仕方をまとめたもの）などを活用し、電話・手紙・ファックスを使った調査や聞き取り調査など多様な調べ方や学び方ができるようにする。 ごみの行方を知り、ごみの多くがリサイクルされていることを確認させる。 <p>【評】調べたことをまとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ごみ処理の苦労、隣接市町の協力、埋め立て地の確保、仕事の苦労や工夫などについて話してもらうように依頼しておく。 ごみ処理の施設の仕組みや働く人々の工夫や努力、環境への配慮などに着目して見学させる。 施設内では、移動中のパッカー車や危険物などに気を付けて行動するように指導しておく <p>【評】ごみ処理の施設や仕事上工夫されている点に着目して見学する活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 見学した施設や働く人々から聞いた話について、見学メモにメモした内容を発表させる。 ごみ処理場の役割について再確認する。 見学を振り返り、施設の仕組みや働く人々の

- 単元を通して調べて分かったことをまとめる。
 - ・自分の生活を見直す
 - ・リサイクルできる物を使用していく
 - ・環境に対して自分ができることを実践していく
- 将来を考え、ごみを減らすために守るべきことや努力しなければいけないことを発表する。
 - ・ごみを分別し、使える物は最後まで使う
 - ・学んだことを家族や地域に伝えていく

- 努力や苦労を確認する。
- ・最終処分場が将来いっぱいになってしまうことに気付かせる。
 - ・ごみ処理には多額の税金が使われていることを伝える。
 - ・健康的な生活のために自分ができることについて考えさせる。

【評】調べて分かったことをまとめる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。

【評】まとめたことを基に考えたことを発表する活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】

本単元では、ごみ、下水のうち、ごみを選択して、廃棄物を処理する事業において衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、生活環境の維持と向上に役立っていることを捉えられるようにする。